

令和5年度 第4学年 学級経営案

男 11人 女 14人 合計 25人 担任 松田 壮史

学校教育目標				
学級目標				
具体的な取組				評価
なかよく	1	互いの良さや頑張りを認め合う場を設定し、支持的風土のある学級をつくる。	I	
	2	相手意識のあるあいさつや返事ができるようにする。	II	
	3	学校アンケートにより、いじめの早期発見、未然防止に努めるとともに、児童が安心して生活ができる教室環境をつくる。	III	
	4	授業や行事を通して、児童一人一人の学級への所属感を高める。		
かしこく	1	当該学年の漢字を中心にミニテストを行い、読み書きの定着を図る。		
	2	基礎的・基本的な計算問題を授業や宿題等で反復し、定着を図る。		
	3	学習意欲の喚起と視覚的配慮の観点から、ICT機器を活用する。 【特別支援教育の視点】		
	4	ペア活動やグループ活動の時間を確保し、「主体的・対話的で深い学び」の実現のために、学習過程に取り組む。		
	5	児童の実態に応じた補充指導と発展指導を計画的に行ったり、支援員と協力したりしながら個別指導に取り組んだりすることで、一人一人の学力向上を図る。		
元気よく	1	体育の授業において、運動量を確保したり、体力テストにおける課題を解決する運動を導入時に継続して行ったりすることで、体力向上を図る。		
	2	休み時間等に外で元気に遊ぶようにする。		
	3	給食において小食の児童が、自分の食べる量を調節したり、食べる量を少しづつ増やしたりすることができるようになる。		
郷土愛	1	社会科の学習を通して、熊本県や湯前町についての理解を深め、地域のよさに気付くようにする。		
	2	総合的な学習の時間を通して、「身の周りの暮らしの工夫」を発見し、よりよくしようとする態度を育てる。		
	3	行事等で地域の方々と交流する機会を大切にし、交流の意義やよさを感じることができるようにする。		
学期評価 (達成状況 達成← 4、3、2、1 →未達成)				